

メキシコ債券ファンド (資産成長型)

【愛称:ラ・バンバ】

【運用報告書(全体版)】

(2021年2月27日から2022年2月28日まで)

第 9 期

決算日 2022年2月28日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2013年3月8日から2023年2月27日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 メキシコ・ボンド・ファンド (アキュムレーションクラス) メキシコの債券等 マネー・オープン・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、メキシコの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つブラックロック・メキシコが行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年1回(原則として毎年2月26日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。
(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
5期(2018年2月26日)	8,358	0	5.5	0.3	94.9	1,088
6期(2019年2月26日)	8,605	0	3.0	0.3	94.0	913
7期(2020年2月26日)	9,786	0	13.7	0.4	95.0	860
8期(2021年2月26日)	9,200	0	△6.0	0.6	93.7	666
9期(2022年2月28日)	9,688	0	5.3	0.6	94.2	592

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率
		騰落率		
(期首) 2021年2月26日	円 9,200	% —	% 0.6	% 93.7
3月末	9,337	1.5	0.6	90.4
4月末	9,476	3.0	0.5	94.5
5月末	9,632	4.7	0.5	90.6
6月末	9,739	5.9	0.6	90.9
7月末	9,641	4.8	0.6	94.8
8月末	9,569	4.0	0.6	90.4
9月末	9,445	2.7	0.6	93.7
10月末	9,547	3.8	0.6	94.3
11月末	8,993	△2.3	0.7	93.8
12月末	9,640	4.8	0.6	95.6
2022年1月末	9,537	3.7	0.6	84.5
(期末) 2022年2月28日	9,688	5.3	0.6	94.2

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2021年2月27日から2022年2月28日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期 首	9,200円
期 末	9,688円 (既払分配金0円(税引前))
騰 落 率	+5.3% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2021年2月27日から2022年2月28日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として、メキシコの債券等に投資しました。また、対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- メキシコペソが対円で上昇したこと

下落要因

- メキシコ債券市場が下落したこと

投資環境について(2021年2月27日から2022年2月28日まで)

メキシコ債券市場は下落しました。為替市場ではメキシコペソは対円で上昇しました。

債券市場

メキシコ国債利回り(10年国債)は、米金利上昇の他、メキシコのインフレ率の上昇とそれに伴うメキシコ銀行(中央銀行)の利上げの動きを受け、上昇しました。期初は米国での新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済対策法案成立やワクチン接種の進展などを背景に米金利は上昇しました。メキシコも米国の景気回復からの恩恵を受けられるとの見方から金利は上昇しました。また、期末にかけては、エネルギー価格などインフレ率の上昇が顕著となりました。

利回りは中央銀行の利上げを受け、特に短期の年限の債券利回りが上昇した他、外国人の国債への売り圧力もみられたことから長期債利回りも上昇し、イールドカーブ(利回り曲線)はややフラット化(長短金利差が縮小)する動きとなりました。

期を通じてみると、メキシコ債券市場は下落しました。

為替市場

メキシコペソ・円相場は期初と比較し、メキシコペソ高・円安となりました。

期の前半、メキシコペソ・円はメキシコペソ高・円安となりました。メキシコ銀行がインフレ率の上昇などを背景に積極的に利上げをしたことが、メキシコペソの上昇要因となりました。

後半は、2022年1月から就任する中央銀行総裁人事で、大統領が予想外の人選を行ったことから中央銀行の独立性に懸念が生じたことや、期末にかけて、一時グローバルでリスク回避的な動きが広がったことなどがペソを押し下げる場面もありました。しかし、メキシコの金利上昇を受け、金利差の点からペソが買われ、円安が進行しました。

ポートフォリオについて(2021年2月27日から2022年2月28日まで)

当ファンド

「メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス)」を高位に組み入れることにより、主としてメキシコの債券等に投資しました。また「マネー・オープン・マザーファンド」への投資を通じて安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス)

ポートフォリオのデュレーション(投資資金の平均回収期間)は、夏場にかけて20年の年限中心にバリュエーション(投資価値評価)が魅力的とみて、一時長期化させました。し

かし、10月から、インフレ率の上昇と中銀の利上げの動きを勘案し、リスク回避的な動きにも対応するため、短期化するように調整しました。

また、メキシコの国債と社債に投資しましたが、社債については流動性と収益追求の観点からクオリティの高い銘柄中心に保有し、期初対比で小幅にウェイトを増やしました。

マネー・オープン・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2021年2月27日から2022年2月28日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2021年2月27日から2022年2月28日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第9期
当期分配金	0
（対基準価額比率）	（0.00%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	461

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）」を高位に組み入れることにより、主としてメキシコの債券等に投資します。

メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）

インフレ圧力の高まりを受け、メキシコで利上げが継続するとみている他、米国でも金利上昇圧力が続くと判断しています。景気の間からは、2021年後半は供給制約の影響もあり、生産動向が一時低調な場面も見られた一方、足元では労働市場の改善が顕著で、消

費の下支えになるとみています。今後もイーールドカーブの形状を注意深くモニターし、割安、割高な年限を機動的に判断することで追加的なリターンを狙っていきます。ポートフォリオのデュレーションは短めに維持する方針ですが、足元のインフレ動向やグローバルな市場環境を勘案し、機動的にデュレーションを調整していく方針です。

社債に関しては現状程度の組入れを維持していきます。

マネー・オープン・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

1万口当たりの費用明細（2021年2月27日から2022年2月28日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	105円	1.106%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は9,539円です。
（投信会社）	(28)	(0.299)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(74)	(0.774)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	1	0.009	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(－)	(－)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	106	1.115	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

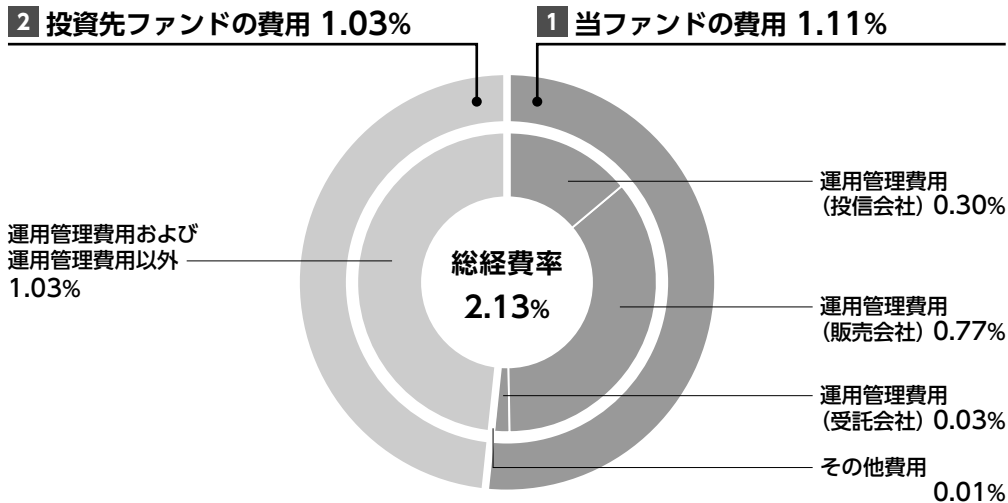
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)	2.13%
1 当ファンドの費用の比率	1.11%
2 投資先ファンドの費用の比率	1.03%

※ **1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.13%です。

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 当期中の売買及び取引の状況（2021年2月27日から2022年2月28日まで）

投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	メキシコ・ボンド・ファンド （アキュムレーションクラス）	140,146,148	147,700	247,086,656	255,500

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等（2021年2月27日から2022年2月28日まで）

利害関係人との取引状況

メキシコ債券ファンド（資産成長型）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

マネー・オープン・マザーファンド

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 47	百万円 12	% 25.5	百万円 -	百万円 -	% -

※平均保有割合 7.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMBC日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 （2021年2月27日から2022年2月28日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 組入れ資産の明細 (2022年2月28日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
メキシコ・ボンド・ファンド (アキュムレーションクラス)	630,491,291	523,550,783	557,843	94.2
合 計	630,491,291	523,550,783	557,843	94.2

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・オープン・マザーファンド	4,997	4,997	4,987

※マネー・オープン・マザーファンドの期末の受益権総口数は61,414,707口です。

■ 投資信託財産の構成

(2022年2月28日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	557,843	93.7
マネー・オープン・マザーファンド	4,987	0.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	32,700	5.5
投 資 信 託 財 産 総 額	595,531	100.0

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年2月28日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	595,531,268円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	32,700,902
投資信託受益証券(評価額)	557,843,359
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	4,987,007
(B) 負 債	3,436,869
未 払 信 託 報 酬	3,412,050
そ の 他 未 払 費 用	24,819
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	592,094,399
元 本	611,143,029
次 期 繰 越 損 益 金	△ 19,048,630
(D) 受 益 権 総 口 数	611,143,029口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	9,688円

※当期における期首元本額723,917,570円、期中追加設定元本額1,242,223円、期中一部解約元本額114,016,764円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2021年2月27日 至2022年2月28日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 27,393円
受 取 利 息	2,153
そ の 他 収 益 金	1
支 払 利 息	△ 29,547
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	36,942,104
売 買 損 益	42,513,737
売 買 損 益	△ 5,571,633
(C) 信 託 報 酬 等	△ 7,124,536
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	29,790,175
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 35,588,042
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 13,250,763
(配 当 等 相 当 額)	(8,439,835)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 21,690,598)
(G) 合 計 (D + E + F)	△ 19,048,630
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△ 19,048,630
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 13,250,763
(配 当 等 相 当 額)	(8,439,835)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 21,690,598)
分 配 準 備 積 立 金	19,777,230
繰 越 損 益 金	△ 25,575,097

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,592円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	8,439,835
(d) 分配準備積立金	19,777,638
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	28,217,065
1 万 口 当 た り 当 期 配 分 対 象 額	461.71
(f) 分配金	0
1 万 口 当 た り 配 分 金	0

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 配 分 金 (税 引 前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）
形態	ケイマン籍契約型投資信託（円建て）
主要投資対象	メキシコの債券等
運用の基本方針	主として、メキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。メキシコペソ建て以外の債券等に投資する場合は、実質的にメキシコペソ建てとなるよう為替取引を行います。また、外貨建資産については、対円での為替ヘッジは行いません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資は純資産総額の5%以下とします。ただし、上場投資信託証券（ETF、REIT等）は除きます。 非流動性資産への投資は、取得時において純資産総額の15%以下とします。
決算日	原則として毎年10月31日
分配方針	毎年2月15日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針。ただし、分配を行わないことがあります。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して</p> <p>運用報酬 年0.57%程度</p> <p>管理費用等 年0.07%程度*</p> <p>*事務代行費用、名義書換代行費用および保管費用を含みます。</p> <p>※上記の各料率には、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の各料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資顧問会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド
副投資顧問会社	ブラックロック・メキシコ（BlackRock México Operadora, S.A. de C.V., Sociedad Operadora de Fondos de Inversión）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）」をシェアクラスとして含む「メキシコ・ボンド・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書(2019年11月1日から2020年10月31日まで)

	(千円)
損益を通じて公正価値評価される金融資産による受取利息	133,985
損益を通じて公正価値評価される金融商品にかかる純損失	(225,427)
純為替差損	(4,413)
損失合計	<u>(95,855)</u>
管理報酬	(10,575)
事務代行、名義書換代理人および保管報酬	(1,460)
監査報酬	(3,937)
専門家報酬	(7,578)
雑費	(10)
受託報酬	(1,360)
財務諸表作成費用	(425)
営業費用合計	<u>(25,345)</u>
税引前および金融費用控除前営業損失	(121,200)
受益証券保有者への分配金	(239,880)
税引前損失	<u>(361,080)</u>
源泉徴収税	(2,411)
営業による受益証券保有者に帰属する純資産の変動額および当期包括利益合計	<u>(363,491)</u>

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

■組入銘柄

(2020年10月30日現在)

銘柄名	債券種別	利率	償還日	組入比率
MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	国債	5.75%	2026/3/5	13.25%
MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	国債	8.50%	2029/5/31	11.25%
MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	国債	7.50%	2027/6/3	10.16%
MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	国債	10.00%	2024/12/5	8.32%
MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	国債	7.75%	2031/5/29	7.44%
MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	国債	8.50%	2038/11/18	7.35%
MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	国債	7.75%	2042/11/13	6.24%
MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	国債	8.00%	2024/9/5	5.50%
SCOTIABANK INVERLAT SA	社債	7.30%	2023/6/16	5.47%
TOYOTA FINANCIAL SERVICES MEXICO S	社債	7.87%	2022/8/29	4.88%
MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	国債	10.00%	2036/11/20	3.73%
MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	国債	8.00%	2047/11/7	3.47%
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV	社債	5.88%	2023/3/10	3.42%
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENTRO NOR	社債	6.85%	2021/6/7	2.61%
EMBOTELLADORAS ARCA SAB DE SV	社債	7.74%	2020/11/13	1.62%
MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	国債	7.75%	2034/11/23	1.56%

※比率は純資産総額に対する割合です。

※アクシオネス・イ・パローレス・バナメックスから提供されたデータに基づき作成しています。

マネー・オープン・マザーファンド

第9期 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2012年7月27日)
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率 %		
5期 (2017年3月1日)	10,016	△0.1	69.8	75
6期 (2018年3月1日)	10,009	△0.1	72.4	75
7期 (2019年3月1日)	10,002	△0.1	72.4	75
8期 (2020年3月2日)	9,996	△0.1	74.9	75
9期 (2021年3月1日)	9,987	△0.1	75.9	72

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

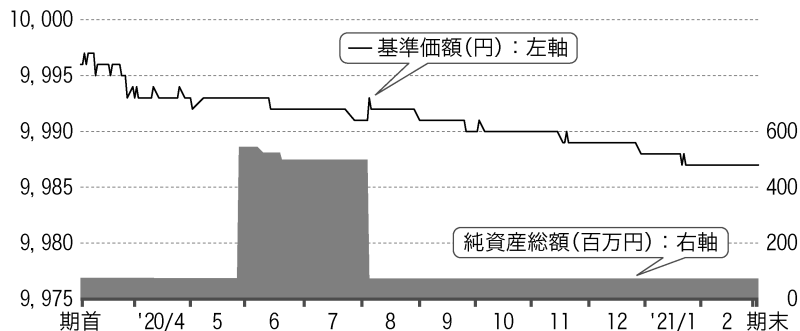
年月日	基準価額		債券組入率比
	円	騰落率 %	
(期首) 2020年3月2日	9,996	-	74.9
3月末	9,993	△0.0	75.1
4月末	9,993	△0.0	75.7
5月末	9,993	△0.0	10.4
6月末	9,992	△0.0	11.3
7月末	9,991	△0.1	11.3
8月末	9,991	△0.1	76.5
9月末	9,990	△0.1	76.4
10月末	9,990	△0.1	76.4
11月末	9,989	△0.1	77.3
12月末	9,988	△0.1	76.1
2021年1月末	9,987	△0.1	76.0
2月末	9,987	△0.1	75.9
(期末) 2021年3月1日	9,987	△0.1	75.9

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

基準価額等の推移



期首	9,996円
期末	9,987円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額の変動要因 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当期の短期金利は上昇しました。

新型コロナウイルスの感染拡大により景気が大きく落ち込んだことや、物価上昇率の伸びが下落に転じたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、リスク回避の動きが強まったことから、安全資産としての短期国債への運用ニーズの強まりを背景に3月下旬に利回りは一時-0.4%台まで低下しました。過度な国債需給の引き締めりに対し、日銀

が保有国債の売り現先（買い戻し条件付き売却）を断続的に実施したことから徐々に需給が緩和し、利回りは上昇に転じました。その後は政府による大規模経済対策が策定され、5月から短期国債が大幅に増発されたことから利回りは上昇基調をたどりましたが、日銀が短期国債買入額を増額したことから利回り上昇は一服し、その後は-0.10%を挟んで概ねレンジ内での推移となりました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.199%に対し、期末は-0.110%へ上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.007% (0.007)	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 その他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.007	

期中の平均基準価額は9,990円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特殊債券	千円 55,671	千円 — (56,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)
 ※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。
 ※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。
 ※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2021年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示
 国内(邦貨建)公社債

区分			期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
特殊債券 (除く金融債)	千円 55,000 (55,000)	千円 55,261 (55,261)	% 75.9 (75.9)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 75.9 (75.9)
合計	55,000 (55,000)	55,261 (55,261)	75.9 (75.9)	— (—)	— (—)	— (—)	75.9 (75.9)

※()内は非上場債で内書きです。
 ※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 ※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。
 ※—印は組入れなし。

B 個別銘柄開示
 国内(邦貨建)公社債

種類	銘柄	期		末	
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
特殊債券 (除く金融債)	第133回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	%	千円	千円	
	第135回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	14,000	14,030	2021/4/30
	第142回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	14,000	14,038	2021/5/31
	第152回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	14,000	14,071	2021/8/31
	第152回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	13,000	13,120	2021/12/28
合計		—	55,000	55,261	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2021年3月1日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 55,261	% 75.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	17,517	24.1
投 資 信 託 財 産 総 額	72,778	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	72,778,985円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	17,450,185
公 社 債 (評 価 額)	55,261,080
未 収 利 息	67,720
(B) 負 債	51
未 払 利 息	51
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	72,778,934
元 本	72,873,889
次 期 繰 越 損 益 金	△ 94,955
(D) 受 益 権 総 口 数	72,873,889口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,987円

※当期における期首元本額75,182,674円、期中追加設定元本額470,329,231円、期中一部解約元本額472,638,016円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

アジア・ハイールド債券ファンド毎月分配型(通貨アクティブヘッジコース)	8,100,949円
メキシコ債券ファンド(毎月分配型)	9,994,004円
メキシコ債券ファンド(資産成長型)	4,997,002円
日興エドモンドウ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド	29,982,011円
SMB C ・ 日興資産成長ナビゲーション	2,798,587円
アジア・ハイールド債券ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	29,944円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(為替ヘッジなし)	1,589,191円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(限定為替ヘッジ)	269,851円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-05(為替ヘッジあり)	1,759,104円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-05(為替ヘッジなし)	529,719円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09(為替ヘッジあり)	5,797,087円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09(為替ヘッジなし)	409,781円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-09	1,039,466円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12(為替ヘッジあり)	5,027,477円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12(為替ヘッジなし)	549,716円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2020年3月3日 至2021年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	543,645円
受 取 利 息	630,211
支 払 利 息	△ 86,566
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△688,010
売 買 損 益	△688,010
(C) 信 託 報 酬 等	△ 11,960
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△156,325
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 28,152
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△329,231
(G) 解 約 差 損 益 金	418,753
(H) 計 (D + E + F + G)	△ 94,955
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△ 94,955

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。